

平成30年11月22日
西部農林振興センター益田事務所農業普及部

標 題	吉賀町でブロッコリー現地研修会を開催 ～排水対策の重要性を確認～
-----	-------------------------------------

(ダイジェスト)

今年度から始まった園芸型高収益作物導入実践事業を活用し、ブロッコリーの実証圃を設置している吉賀町で圃場巡回研修が開催されました。
当日は新規就農者や農業研修生を中心に、町内のみならず津和野町からも含め20名の参加があり、水田での園芸作物生産における排水対策の重要性を確認しました。

10月16日(火)に吉賀地域農業再生協議会主催により、園芸型高収益作物導入実践事業の実証圃3カ所を含め、計4カ所の圃場を巡回する研修会が実施されました。

実証圃3カ所の設置者はいずれも初めてブロッコリーを栽培する新規就農者2名と就農7年目の方です。購入苗の方は8月5日から定植を開始され、10月3日から収穫を始められます。自家育苗の方は9月1日から定植し、研修会当日に発蕾が確認できました。いずれも額縁明渠による表面排水対策が施された圃場です。

一方、実証圃以外の1カ所については以前からグリーンコープ生協連合向けに生産されている方で、圃場は土づくりを兼ねて年1作は必ず緑肥を栽培し、すき込まれており、地下浸透による排水対策が行われています。

参加者は、機械による排水対策の効果を確認するとともに、時間は掛かるが土づくりとともに行う緑肥による排水対策の有効性も知るよい機会となりました。

普及部として排水対策の重要性が定着するよう今後も継続的に意識啓発に取り組みます。



新規就農者圃場にて



ベテラン農家との意見交換